

ヴェーナス通信

Venous(静脈) Venus(護美の女神)



創刊号

発行 東多摩再資源化事業協同組合
理事長 紺野武郎
東京都東村山市久米川町1-16-5
TEL& FAX 0423(95)9788

東多摩再資源化事業協同組合 の生い立ち

理事長 紺野武郎

1 前身東多摩支部からの繋がり

東資協東多摩支部は、平成3年4月より田無市の古紙、古繊維、びん、缶類の回収委託事業を受け、続いて東久留米市の古紙、缶の引き取り、清瀬市の缶、カレットの引き取り事業も実施していました。また、保谷市行政回収の古紙は奥山商店が、清瀬市の古紙は小畑商店がすべて引取っていたことや、この4市に小平・東村山市を加えた地域のほとんどの集団回収・販売店回収・坪上げ回収・チリ交回収も東多摩支部員の手で実施されておりそれは現在も続いています。平成4年には小平市行政回収モデル事業の委託も頂いて、支部事業は順調に拡大し

て参りました。

しかしその頃、柳泉園組合に4市すべての資源物を処理するリサイクル施設が出来るとい噂がしきりに流れてきたが、支部にはその相談は全くありませんでした。

当時はバブル絶頂期を過ぎて、びん缶などの資源物が逆有償となり、古紙類もごみ化するのではとの危機感が自治体間で懸念され出した時でした。

2 『TAMAらいふ21』事業の恐怖。

平成4年7月9日都庁に於いて、多摩らいふ21協会の「リサイクル実行委員会」が開かれ、東資協を代表して私が委員となり、この時はじめて当協会関係の会議に出席しました。そこで配られた資料に

広域リサイクル施設「柳泉園センター」の全容が示されていることに驚き、目を疑いました。

地元リサイクル業者は、企画立案は勿論どの部分にも参加する余地は無く、行政が回収・選分・流通の一貫した実験と検証をするもので、すでに最終実行段階にまで進んでいたのです。

民間業者と競合する巨大施設を作り、運営とコスト負担は行政が税金で、しかも最終ユーザーまで届けるとなれば勝負はついたも同然です。

組合員は、過去の実績と民間回収事業に対する理解を求めて、残された僅かな時間での戦いを開始しました。

3 柳泉園リサイクル事業への参加運動。

多摩らいふ21協会・東京都・厚生省などに対して実情を説明し、関係4市の市議会議員

1996年8月16日

に陳情、市長・議会への要望書提出、マスコミへの訴えなど、事業参加への確約が頂けるまで繰返し運動を続けました。

当時、衆議院議員リサイクル懇談会の事務局長として日本再生資源事業協同組合連合会の窓口となって頂いていた常松裕志代議員も、私供の主張に賛同し共に運動して下さいたことは記憶に新たです。

運動をしていて、地域業者が業種・業態を越えて強く結び付かなければ、対応できない部分が多く、特に今後行政が行なうごみ減量のためのリサイクル事業の受皿にはなり得ないことを痛感致しました。

4 東多摩再生資源化事業 協同組合の設立。

まず支部を法人化することに
よって、総合的なりサイクル
企業体を確立し、市民や行政

の信頼を得なければならぬ。
と言うことになりました。

都中小企業団体中央会に毎週通って、定款・事業計画・収支原案を作り、所管行政庁との事前協議を繰返して異例の早さで手続きが完了しました。平成5年7月2日に田無市民会館を会場にきめて、組合員には一丸となって創立総会の準備に奔走して頂きました。

柳泉園そして地域6市との関係は、大変友好的になり強い信頼と協力を頂くようになり
ました。

総会当日には東京都はじめ多摩らいふ21協会のリサイクル部長・柳泉園事務局長・6市の部課長各位など28名の来賓の皆様のご臨席を頂き、賛助会員全員のご出席も得て盛會裡の内に新組合のスタートを切ることができました。

5 新組合の事業。

小平市リサイクルC委託業務

(古紙・古繊維・缶・びん・カレット)

柳泉園リサイクルC委託業務
(古紙・古繊維・ペットボトル)
東村山市収集委託業務(古紙・古繊維)

東久留米市引取委託業務(古紙・鉄類)

東大和市引取委託業務(びん・カレット)

各市の資源集団回収事業(590団体より回収)

その他(市民へのリサイクル推進PR活動など)

6 むすび。

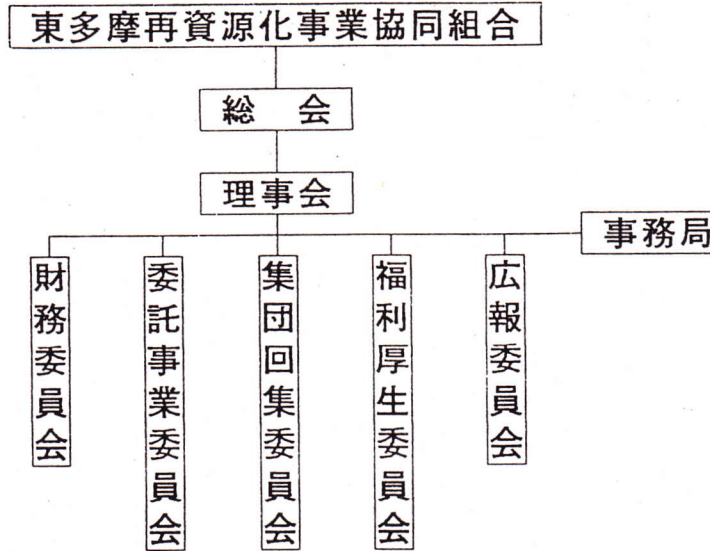
組合を設立して4年目に入り、関係各市・各機関からは深いご理解を賜り、組合事業は順調に拡大しており、組合員の皆様にも各種事業に対し献身的なご協力を頂き、大過なく業績を残せたことに心から感謝申し上げます。

しかしながら、ただ実績に甘えては時代の流れに即応

することは不可能であります。現在、各市の「廃棄物減量等推進審議会」委員に参加させて頂いていますが、中間処理場そして最終処分場問題をはじめダイオキシン等の公害問題、行政コストの暴騰歳入不足と厳しい状況の内にも、一層のリサイクル推進策を勧めなければならぬのが現状と解りました。

リサイクルに対する認識は、市民・企業・行政それぞれに高まり、日々研究と情報収集による企業努力をして行かなければ信頼される受皿にはなり得ないことを常に意識しておく必要があると思えます。各委員会は一層活動を活性化し、21世紀を見据えた事業の推進と組合員の意識向上に努力して頂きたく切望致します。

組合組織の説明



組合員

15社が組合員です。

役員

理事13名、監事2名で構成されています。

理事長 紺野武郎

副理事長 藤本俊光

奥山賢児、藤野昭吾

専務理事 萩原貞雄

理事 小畑和夫、川島正

行、栗原正雄、土井益次

郎、古川敏雄、古山忠、

水野勇、吉浦高志

監事 渡辺一史、石川厚

総会

総会は組合員全員をもって構成する組合の最高の意思決定機関です。年に一度、事業年度終了後に通常総会が開かれます。総会では次のような事項が決定されます。

- ① 決算関係書類の承認。
- ② 事業計画、収支予算案の決議。
- ③ 役員を選出（理事、監事）
- ④ 定款（組合の規則）変更、

等。

理事会

総会の決議にもとずき組合業務の執行について意思決定を行う機関であり、その執行をも併せて行います。理事全員で構成され、毎月一回、定例理事会が開かれます。組合の運営、管理を全体的に監視し日常業務に反映させます。

監事

決算関係書類の監査と監査結果の意見書作成が主な任務ですが、組合運営の適正化を監視する役目も担っています。

委員会

多くの組合業務を専門的に分担して、その部門ごとの運営、方針などの意見をまとめ、理事会に具申します。次の委員会があります。

- ① 財務委員会
- ② 委託事業委員会
- ③ 集団回収委員会
- ④ 福利厚生委員会
- ⑤ 広報委員会

① 財務委員会（委員長 古川敏雄、副委員長 小畑和夫）

簡単にいえば大蔵省です。決算書の作成、年間予算の原案作成、(収支見通しや予算配分)。毎月の試算表作成なども頭をひねっている。

②委託事業委員会(委員長 土井益次郎、副委員長 古山忠)

委託事業は組合財源の最重要部門。一般企業でいえば生産、販売部門です。現在、市の委託事業として小平RC、柳泉園RCの一部、東村山市の故紙、ポロの回収、東久留米市と東大和市のヤード引き取りを行っています。各委託事業が市との契約どおり順調に行われているか、作業点検、改善点、人員などに常に目を配っています。さらに、小平RCの会、柳泉園部会などを開いて当面する課題の解決を計ります。また、月ごとの取扱い資産物の数量と流通を管理しま

昨年を上回る 資源化量

1996年4月～6月 資源取扱量 (単位Kg)

	古紙	古布	カレット	生きビン	鉄・非鉄
小平	1,310,100	182,720	278,230	111,054本	222,098
柳泉園	1,124,530	117,500			
東村山	416,020	75,650			
東久留米	263,080				90,540
東大和			56,060	35,430本	
合計	3,113,730	375,870	334,290	146,484本	312,638

当組合の今年度4月から6月までの3ヶ月間の資源物の取扱量は上記の表の通りです。一番数量が多いのはやはり古紙で3千トン余で、月平均1千トンを越えています。次が意外にも古布類で三百七十余トンで月平均三三三トンです。これは衣替えなどの季節の影響によるものです。カレットは白が最も多く全体の6割近くを占め、茶が2割で以下緑、黒の順です。生き

す。

③集団回収委員会(委員長 小畑和夫、副委員長 川島正行)

町内会、自治会、子供会、福祉団体などの集団で資源物を回収する団体との連携を強め、集団回収の推進、分別回収の指導などを行います。また回収業者への行政助成金の要望などを働きかけます。

④福利厚生委員会(委員長

萩原貞雄、副委員長 田中彰)

職場での安全、衛生の確保、向上が主な任務です。健康診断、研修旅行の実施のほか、リクレーションの企画を留意して、仕事による疲労やストレスがたまらないような働きやすい職場の実現を心がけています。

⑤広報委員会(委員長 吉浦高志)

東多摩にリサイクルのエキスパート有りと、各市のリサイクルフェアへの参加や組合パンフレットの配布など組合の宣伝活動と市民にたいするリサイクルの啓蒙を行っています。また、組合員の資質向上のために学習会や施設見学などの教育活動を行います。事務局

ピンは二八割茶が三%、ビール大が四%ミツカンが三%次いで込み4合と続きます。鉄・非鉄は小平ではスチール缶が五%、アルミ缶が五%の割合です。東久留米は自転車、廃家電、ゴミボックスなどです。市民が出す資源の量から季節の移り変わりや生活の内容などを推理するのも面白いものです。

8.3 小平市リサイクルフェスティバル開催

去る8月3日恒例の小平リサイクルフェスティバルが小平福祉会館前広場にて開催された。今年の基調テーマは「はじめよう、小平から!」「地球にやさしいリサイクル」もう一步前進、私たちのリサイクルライフ」だった。これは、循環型社会構築に向け、市、市民、事業者の3者が一体となって、ごみ減量、リサイクル推進の啓発とお互いの情報交換を行うおおいに意義ある場となった。

催しには、6市の資源化事業の展示説明と百余りの出店で賑わった。

当組合も昨年に引き続き参加し、プレスした古紙類、缶類の展示、紙の分別クイズを実施した。紙の分別クイズは禁忌品を混ぜた数種類の紙を市民に渡し、新聞、段ボール、

雑誌雑紙、牛乳パックなどに正しく分別できるかどうかを問うものです。大変好評で多くの市民が挑戦し、参加者には再生トイレットペーパーやティッシュペーパーを配った。それとともに、禁忌品を説明したチラシと組合パンフを配布した。

これらの催しにはこれからも積極的に参加してリサイクルの意義と組合が市民のリサイクルの良きパートナーであることをアピールしていきたい。

つぶやき

雨ニモマケズ

雨にもまけず風にも負けず夏の暑さにも冬の雪にも負けず丈夫な設備を持ち音は小さく決して臭わず

いつもコツコツ動いている不純物があればこれを除き

1日に何トンもの缶 ビン
ボロをリサイクルし
東に缶出す子供あればピンは
混ぜないでと言ひ

西にビン出す母あれば缶は混
ぜないでと言ひ

南にボロ出す人あれば雨の日
は出さないでと言ひ

北にペットボトル出す人あればアルミキャップをはずして
と言ひ

暑い時には量が増え寒い時には
量が減り

良く作業し 決して残さず
市民から東多摩再資協はリサ
イクルの達人と

呼ばれるそんな者に組合はな
りたひ

(又三郎)

マンネリ化

「男はつらいよ」シリーズは
寅さんの死によってとうとう
終止符を打つことになった。

「継続は力なり」という言葉
があるが「継続はマンネリ」
とならぬ様に寅さんを見習ひ

たい。再資協もマンネリ化し
ない為に先の時代を見つめて
進もうではないか。

(月よりの使者)

リサイクル今昔

昔、リヤカーで品物を集めて
いたクズ屋さんは、家庭から
出るゴミの中で再利用出来な
いものは、セトモノのかけら
だけだと言っていた。経済が
成長し、物価が上がリ、コス
ト面から再利用可能な物とそ
うでない物に分かれてきたが
これから先、地球環境を守る
という価値観のもとですべて
のものがリサイクルされる時
代が来るかもしれない。

(憶麻呂)

RC川柳

☆新人が

おぼえる頃に

やめていく

☆美人ほど

だらしなく出す

リサイクル

(逆ネジ)

幸せですか？

(藤本俊光)

『幸せになりたい』誰もが等しく希望し願うことでしょう。デモネなかなか幸せは先方からやって来てくれない。幸せは自分で買うものであり家族の幸せはみんなで作るものなのね『先ず健康』『健全な身体に健全な精神が宿る』昔の言葉通り三度の食事から留意し、時代の流れは計算して先取りし、仕事には万全の手を打ち毎日満足して安眠しなくちゃ明日の幸せはつかめ

▲コラム▼

夢見鳥

文化のトイレ

阪神大震災でトイレの確保が被災者だけでなく、支援に駆けつけたボランティアの人たちにとっても深刻な問題だっ

ない。お互い頑張って今日も 明日も幸せに生きましよう！

研修旅行に 全員参加を

9月28・29日

ペットボトル再生工場見学

新潟=北方文化博物館

1日目

田無・東村山駅バス出発

ペットボトル工場(栃木県、

ウィズペットボトルリサイクル(株) 見学 = 関越道 = 新潟月岡温泉泊 (ホテル泉慶)

2日目

北方文化博物館見学 = 弥彦神社 = 寺泊

(海産物買物) = 関越道 = 東村山・田無

申込締切り9月5日

たらしい。

生活の中で一番身近なことなのに、なくなってみないとその大切さがわからないなんて、どこか私たちの仕事に似ていると思いませんか？ 私たちの仕事は文化のトイレなのかもしれない。

(敵神一刀)

編集メンバー

編集長 吉浦高志
副編集長 藤野昭吾
編集委員 石川義雄

奥山眞吾
小畑和夫
紺野武郎
土井健一郎
藤本俊光

編集後記

(吉浦高志)

今回組合の情報機関誌を作成するにあたり、対象者を組合員だけにするか、広く一般の方々まで広げるか悩んだ末に一回目は組合員、二回目以降は一般の方々にも配布するようになりました。

多摩六都の皆様が組合の情報機関誌を読んで頂き、リサイクルに対して、組合が真剣に取組んでいる姿勢、そしてどれだけ成果をあげているかを知っていただきたいと思えます。また、組合の方々には自分たちの存在意義を理解してもらい、明日への原動力となってもらいたいと思えます。

新聞古紙の取扱いは慣れてるけど、その元となる紙面を作るのもこんなに大変だったとは。まっ初めてのことでお見苦しいところはご勘弁のほど。